

令和4年度 第1回介護保険専門分科会においていただいた委員意見

- 企画・調査部会の委員から出された意見に基づいて適切に修正等が加えられている。
- 実態調査について、市民の皆様がアンケートに答えるにあたって、グーグル等を利用して、簡単に答えることができるようにしてはどうかと思う。検討してはどうか。
- 設問数が多いので、削除を検討して欲しい。
- 現在、国が検討している第9期介護保険制度の改正案のうち、ケアプラン作成の有料化、要介護1・2の生活援助サービス外し、利用料の原則2割負担などについて、その動きを止めるよう神戸市としても対応して欲しい。
- 今後ますます増加する介護問題について、本人や家族、施設への調査を行なうことは、実態を知り、今後のより良い老後生活を安心して営むために、何が課題で、何を必要とされているのかを知る上で大変重要と考える。また、神戸市が先駆けて実施している認知症神戸モデルについての独自項目の調査の結果については、本来は国が行うべき施策という意味を込め、国へとつなげていただきたい。
- 現在、審議されている第9期介護保険事業計画は、更なる利用者の負担増と介護サービスの利用制限につながる恐れがある。「いつでもどこでも安心して介護を受ける介護を託せる介護保険」で始まったはずの制度そのものが崩壊してしまう。超高齢社会、介護保険の財源の中でやり繰りするのには既に限界にきていると考える。